



但馬水産技術センターだより



海況情報（K2030号）

令和2年11月4日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

1. 大型クラゲの出現状況について

大型クラゲの出現状況をお知らせします。

- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構及び国立大学法人広島大学・東京海洋大学により構成される「大型クラゲ国際共同調査共同研究機関」が実施した国内フェリーを利用した調査では、10/20-10/21に対馬海峡東水道で3個体（傘径50～70cm）が確認されています。（出典：国立研究開発法人水産研究・教育機構 <http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/index.html>）
- ・今年度は、過去の大量発生年ほどの量ではありませんが、近年と比べると多くの量が確認されています。
- ・今年度は、対馬海峡西水道の韓国寄りから日本海に大量のクラゲが流入していると考えられ、その多くは日本海の沖合を北上し、一部は日本海沿岸に接近して隠岐諸島、能登半島等で散発的に大量出現しています。
- ・対馬海峡では、9月上旬の台風通過に伴い流況が変化し、一時的に対馬西岸に非常に大量のクラゲが出現するとともに対馬海峡東水道でも数十個体の出現がありましたが、現在はほぼ収束しています。
- ・漁業情報サービスセンターの最新のとりまとめによると、10/27～10/31に中西部日本海の098海区、890海区、849海区において、底びき網で1～3個体（サイズ50～80cm）の入網報告があります。
- ・今後は、出現は徐々に減少していくものと考えられますが、現在でも日本海中部～北部の沖合域にまとまった量の大型クラゲが分布していると推定され、今後の流況の変化によっては日本海沿岸域に接近してくる可能性もありますので、引き続き警戒が必要です。
- ・また、局所的に大量に溜まっている場合もありますので、突発的な大量入網にもご注意ください。

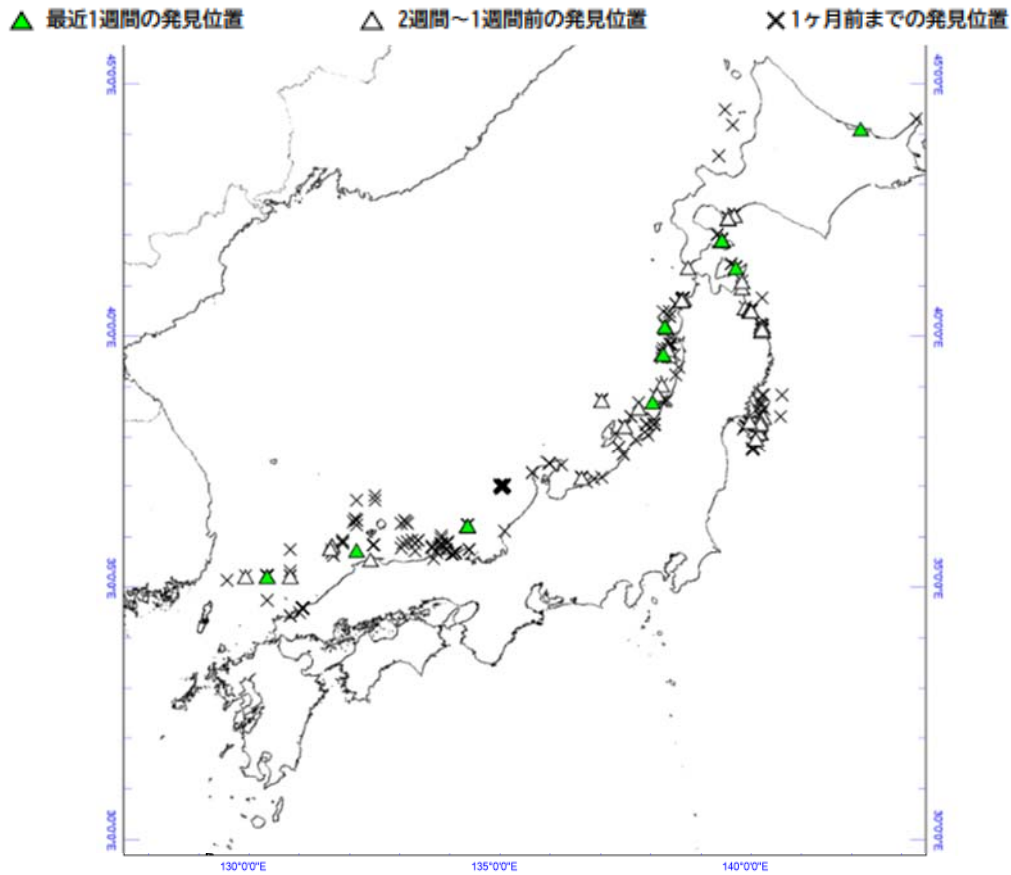
2. 大型クラゲ目撃情報の提供をお願いします。

- ・月日
- ・位置（緯度・経度、あるいは海区番号、〇〇岬地先、〇〇沖□kmなど）
- ・個体数（目撃数、あるいは入網数）
- ・サイズ（クラゲの傘の直径、約70cm、70～100cmなどおおよその大きさ）

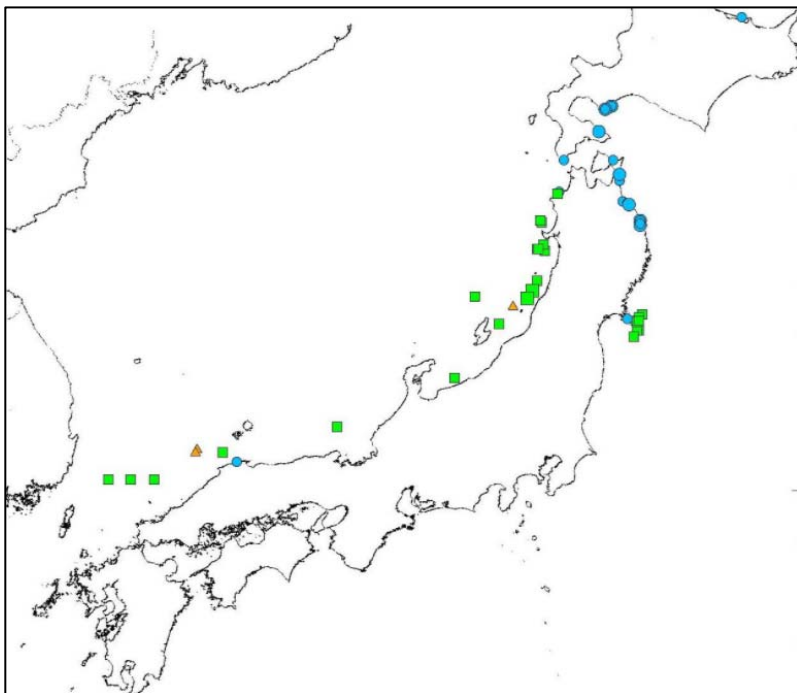
お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター（鈴木） TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684
E-mail：nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp
HP： <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>

(参考資料1)

■JAFIC/一般社団法人漁業情報サービスセンターによる大型クラゲ(Nemopilema nomurai 等)出現情報(11月2日更新分一部抜粋)



■最新の大型クラゲMAP(漁業情報サービスセンターHPより一部抜粋)



出典：JAFIC/一般社団法人漁業情報サービスセンター
<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>